年間授業計画　様式例

高等学校 令和５年度（2学年用） 教科　国語　科目 論理国語

教　科：国語　　科　目：論理国語　　単位数：3　単位

対象学年組：第　2 学年　A　組～　G　組

教科担当者：（A組：石岡　）　（B組：奥間　）　（C組：小田島　）　（D組：石岡　）　（E組：小田島　）　（F組：奥間　）

使用教科書：（『精選論理国語』三省堂　）　（G組：小田島　）

教科　国語　の目標：

【知識及び技能】社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手として、国語を尊重しその能力の向上を図る態度を養う。

科目　論理国語　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	書	読	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	「ぬくみ」鷲田清一 【知識及び技能】 ・文章の構成をとらえる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・筆者の主張を把握する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・内容について、自分の経験や既知の情報とを結び付けて考える。	・漢字・語彙 ・読解の方法			○	【知識及び技能】 ・文章の構成をとらえることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・筆者の主張を把握することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・内容について、自分の経験や既知の情報とを結び付けて考えることができる。	○	○	○	9
	定期考査						○	○		1
	「世代間倫理としての環境陳理学」加藤尚武 【知識及び技能】 ・情報を吟味する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・根拠を示して自分の考えを明確に表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・読み手の存在を意識して書こうとする。	・主張と根拠 ・情報の信頼性と妥当性 ・テーマに沿って自分の考えを書く ・作品を読みあって、相互に評価する。		○		【知識及び技能】 ・情報を吟味し、判断することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・根拠を示して自分の考えを明確に表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・読み手の存在を意識して書こうとしている。	○	○	○	14
	定期考査						○	○		1
2学期	「ミロのビーナス」清岡卓行 「空白の意味」原研哉 【知識及び技能】 ・文章の構成を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・具体例を活用し、筆者の考えを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・文章のテーマについて、自分の経験や既知の情報を使って理解を深める。	・漢字・語彙 ・筆者の主張と具体例			○	【知識及び技能】 ・文章の構成を理解りている。。 【思考力、判断力、表現力等】 ・具体例を活用し、筆者の考えを理解することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・文章のテーマについて、自分の経験や既知の情報を使って理解を深めようとしている。	○	○	○	14
	定期考査						○	○		1
	「『であること』と『すること』」丸山真男 【知識及び技能】 ・語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・論の展開をとらえ、要旨を把握する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・文章のテーマについて、自分の経験や既知の情報を使って理解を深める。	・漢字・語彙 ・論旨をとらえる			○	【知識及び技能】 ・語彙を豊かにすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・論の展開をとらえ、要旨を把握することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・文章のテーマについて、自分の経験や既知の情報を使って理解を深めようとしている。	○	○	○	14
	定期考査						○	○		1
3学期	「古今和歌集仮名序」紀貫之 「歌よみに与ふる書」正岡子規 【知識及び技能】 ・情報を整理する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・複数の資料をもとに考察し、批判的に読まれることを想定して書く。 【学びに向かう力、人間性等】 ・読み手の存在を意識して書こうとする。			○		【知識及び技能】 ・情報を適切に整理している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・複数の資料をもとに考察し、批判的に読まれることを想定して書くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・読み手の存在を意識して書こうとしている。	○	○	○	14
	定期考査						○	○		1 合計 70